

2020年度・2030年度の再生可能エネルギー導入目標の内訳

再エネの種類	2015年度末 設備容量 (千kW)	2015年度末 発電量 (百万kWh)	2016~2020年度末導入見込み容量	2020年度末 設備容量 (千kW)	2020年度末 発電量 (百万kWh)	2021~2030年度末導入見込み容量	2030年度末 設備容量 (千kW)	2030年度末 発電量 (百万kWh)
住宅用太陽光発電	338	408	35,000kW/年×5年=175,000kW	513	620	25,000kW/年×10年=250,000kW	763	922
非住宅用太陽光発電	1,149	1,409	250,000kW/年×5年=1,250,000kW	2,399	2,942	100,000kW/年×10年=1,000,000kW	3,399	4,169
陸上風力発電	55	97	[小規模施設] 1,500kW×2基=3,000kW	58	102	[小規模] 1,500kW×5基=7,500kW [小型(風レンズ風車、垂直軸型発電設備等を含む。)] 10kW×500基=5,000kW	71	124
洋上風力発電	0	0	—	0	0	[瀬戸内海側] 5,000kW×20基=100,000kW [日本海側] 3,000kW×10基=30,000kW [合計] 130,000kW	130	342
小水力発電	4	23	計8施設 1,894kW	6	32	200kW×5基=1,000kW 50kW×20基=1,000kW	8	43
木質バイオマス発電	104	730	[大型木質バイオマス施設] 計3施設 39,700kW [小型木質バイオマス施設] 40kW×4基=160kW [合計] 69,860kW	145	1,013	[小型木質バイオマス施設] 40kW×20基=800kW	148	1,037
メタン発酵発電			計1施設 50kW			●県内の家畜糞尿の総排出量に対し、既存施設の処理量あたりの発電量を適用すると、県内のポテンシャルは11,000kW ●2030年度の導入率が10%とすると、導入容量は1,100kW ●2020年度以前に導入された50kWを差し引くと、1,050kW		
消化ガス発電			計1施設 510kW			●県内大規模下水処理施設にヒアリングを行い、想定 計2施設 1,586kW		
ごみ発電	58	259	●新設の施設については、バイオマス比率を50%として算出 [新設及び更新] 計3施設 11,350kW [廃止] 計3施設 5,627kW [差し引き] 5,723kW	64	285	●2030年度末時点で耐用年数(30年)を超える設備について、国補助(1/2等)が得られる高効率発電施設に更新されると仮定して算出 [新設及び更新] 計12施設 52,761kW [廃止] 計9施設 27,304kW 差し引き 25,457kW	89	398
地熱発電	0	0	計1施設 100kW	0.1	1	100kW×10基=1,000kW	1	7
潮流発電	0	0	—	0	0	●実証試験施設の導入設備容量を用いて算出 500kW×10基=5,000kW	5	18
その他	0	0	—	0	0	●実証試験施設の導入設備容量を用いて算出 [海洋温度差発電] 50kW×20基=1,000kW [波力発電] 15kW×20基=300kW	1	6
合計	1,709	2,926		3,185	4,996	計	4,616	7,066

	稼働率
太陽光(住宅用)	13.8%
太陽光(非住宅用)	14%
陸上風力発電	20%
洋上風力発電	30%
小水力発電	60%
木質バイオマス	80%
メタン発酵	
消化ガス	
ごみ発電	51%
地熱発電	70%
潮流発電	40%
海洋温度差発電	56%
波力発電	40%